

徳親会

徳親会は創立70周年になります。この地は「よつばっばら」（当時の四ツ葉町の飛び地）と呼ばれ、そこに戦時中陸軍第2造兵廠の関連住宅ができ、戦後、住宅の方々が徳親会を作り、徐々に周りの畑に住宅ができ北側の台地先端部へと発展しました。この地には古代遺跡・戦争遺跡の跡があります。大塚原という地名、赤塚大塚原遺跡、高射砲陣地の跡地、徳親公園は空襲の焼夷弾で4棟延焼の跡地です。

当会は見える・分かる活動を通して“参加する”を目指しています。「お楽しみ会」は、老いも子供も楽しむ、防災訓練を兼ねたいも煮の炊き出し、応急食米のおにぎり、ゲームや綿あめ等の配布を行っており、最近では子供の参加が多くゲームが盛況です。「夏休みのラジオ体操」は、幼児から高齢者までで5日間行っており、そのほかに「新年懇親会」があります。また、気軽に交流のできる「お花見お弁当の会」も考えております。防災関連では、在宅避難の場合を想定し、区の避難所との共助マニュアルが必要と考えています。なお、当会は認可地縁団体の許可を得て、所有する倉庫の登記名義を町会長名から徳親会へ変更します。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



お楽しみ会（令和元年12月）